

とてつもない小学生

全国 73 位でした。

全国統一小学生テスト全受験者 28,762 名中、、、です、、、

全国偏差値は 75.5 驚異的です。このままいけば 東大に合格
できます！ちなみに**道コン順位は全道 1 位**です(笑)

しかしこの“驚異”を生んだ背景には当人のたゆまぬ努力
があります。誰もが一休みする時に誰よりも進む者だけが
一番高いところに辿りつきます。以前、東大の入学式に出
席した先輩より聞いた話ですが、東大の学長の挨拶が「世
界一になってください」だそうです。シンプルですが凄ま
じい要求です。その要求に叶うだけの学生たちだというこ
とですね。東大に行くことが正解ではありませんが(笑)
彼にはこの先もたゆまぬ努力の末、だれよりも高いところ
に上って行ってほしいです。そして誠実な彼ならばきっと
大義を得て大きく活躍していくことと思います。いつも凄
いよ！これからも頑張っていこう！

快拳！！

朝一のニュースでテンション上がりました！

全仏オープン優勝!! 柴原瑛菜(しばはらえな)選手！

日本勢 25 年ぶりの快拳!!

世界で活躍する日本人もスタンダードになり始めている
ように思います。ただその裏には紆余曲折、努力に努力
を重ねた壮大なドラマがあるのだと思います。私が琴似
教室を開校するより前からお付き合い頂いている塾生が
います。なんと今年、**札幌南高に合格しました!!** 素晴
らしい!! 2ヵ月たったけど本当におめでとう！さらに
彼が在籍していた中学から南高に受験し合格したのは 2
名だけ。その一人が琴似教室に通ってくれていたことは
とても誇り高い気持ちになります。そして彼もテニスブ
レーヤーで入学早々南高のシングルス 1 として活躍して
いるそうです！

※テニス部におけるシングルス 1 とは実質部内最強(エース)です。高体連期間のため忙しい日々を過ごしているようです。
初めて会ったのは彼が小 4 の終わりころでした。そこから現在に至るまで**6 年間通い続けてくれています。**本当に感謝に堪
えられません。札幌南高に合格と聞くと勉強のエリート街道をひた走ってきたイメージがあるかもしれませんが。しかし**彼との 6
年間は本当に山あり谷ありでした。**性格は大真面目で且つ負けず嫌いです(笑) 1 つの事柄を深く考えぬく能力は見事でした。
そして入念さです。100%にしても安心できないという抜け目のなさが彼の実力をどんどん上げてくれました。ここまで
書くとやっぱり万幸うまくいったのでは・・・と思われるかもしれませんが。確かに 480 点や 490 点といった高得点をとるこ
ともありました、しかし次のテストでは 410 点…100 点を取ったかと思えば 70 点をとる…得点の波が相当激しかったです。
それは入試の直前まで続きました。**学びというのは精神状態に大きく左右されます。**まして思春期であれば尚更です。**どん
なに志高く勉強している子でも日々の生活や将来、そして自分自身というものに不安を感じて生きています。テストの点数
も、ただ勉強を積み重ねるだけで安定して取れるというものではありません。**それほど単純なら進路で悩む生徒は半分以下
になり保護者の心労も軽くなります。**大切なことは今を大事にしつつ先を見据えるということです。そしてそのために自分
の中にある“芯”を信じることです。**彼には心に秘めた目標と野望があります。そのために日々頑張っていました。
直前で心折れそうになり志望校を変えようか悩んでいた時期もあります。本当に苦しんだと思います。それでも私はこれまで
積み重ねた努力する自分自身を信じて欲しいと説きました。**自分を本当の意味で大切にできるのは自分しかいません。**
結果、彼は乗り越えて合格を勝ち取りました！今では本当に楽しそうにしています。これほど嬉しいことはありません！
※合格発表のタイミングは実は生きた心地がしませんでした(汗)

どんな人もその裏では苦労があり努力があります。ドラマの無い人などいないでしょう。世界で活躍する日本人も、進路に
悩む受験生にも。これからも悩める学生たちを本当の意味で支えていきたいと思えます。個別指導なので小 1 ~ 高 3 まで(笑)
あ、私もテニス部だったのですよ！(笑)

創刊号の刊行について

今月より月 1 回の発行を行っていきます。内容は前の月に掲載したブログ内容です。ニスコホームページ内に各教室の
ブログ(教室によってはただの宣伝 or 告知のみ)が掲載されております。琴似教室も 6 月より出来る限り頻繁に更新を
することにしました。その内容をまとめて皆様にご案内したく「ニスコニタイムズ」という名前をつけて情報紙を作
成するに至りました。かねてより皆様に琴似教室を知ってほしい、何より我々(主に私ニ朝日ですが、、)の考えを知
ってほしいという気持ちを強く抱いておりました。開校より 3 年の試行錯誤により、ようやくこぎ着けた次第です。様々
な生徒のストーリーや我々スタッフの持論、勉強に役立つ情報を提供してまいりますので何卒宜しくお願い致します。

新高1制の悩み…

生徒面談をするたび毎年同じセリフを聞きます。「周りが頭良すぎて引く…」「置いていかれる不安しかない…」「学年最下位だと思う…大差で…」初めての定期考査もやったことないのに心がボキボキ折られています。入学前はあんなに希望に満ち溢れた表情をしていたのに…

南北高校の合格者たちは中学時代に90点前後の点数を取り続けていました。それが高校の小テストで5割・6割…7割超えれば良い方という見たこともない点数に愕然とするのです。聞けば当人だけではなくクラス全体が沈痛な面持ちだそうです。つまり自分も周りも同じ苦しみを感じているのに、あたかも自分だけが苦しんでいるように錯覚してしまうのです。これが最上位高校の“洗礼”でしょう。重要なのはこの“洗礼”が一面的な思い込みだということです。ほぼ全員が均一にハイレベルな空間では些細なことでも劣等感に代わってしまいます。周囲との“違い”が能力の差だと誤認して自分を見失ってしまうのです。

そこで止まってしまうか、よくよく考えて整理して自分自身を見つめなおせるかで3年後が大きく違ってきます。これが“差”というものです。

整理すべきは“周りにあって自分にない”という漠然とした考え方です。**大切なことは明確な目標のために計画して実行して達成するということです。**南北高校に合格する生徒たちは大凡胸に秘めた目標があります。目標から逆算して1日1日の行動を具体化してください。明日を決めて1週間後を作って1ヵ月後を予想してください。1週間後が見えない者に将来の成功（達成）はありません。**“先見の明”を磨き続けるのです。**

これは初めてのことでありません。今まで十分すぎるほどやってきたことですよ。落ち着いて深呼吸して、自信を取り戻してください！

学校のレベルが高くモチベーションも下がり気味、400点の大台を超えられない中で入塾してきました。もともと能力値は高かったので自信を回復してもらい、テスト前勉強ではなく“日々の勉強”に切り替えてもらったところみるみるレベルアップしてくれました！本人も保護者の方も、今までで一番勉強していない気がする…すこし不思議そうなお様子でしたが。もともと必要な量がありそれを直前までため込んで一気にやって消化不良か、それとも毎日無理なくこなして精神的にも万全の状態となるか。要は二択なのです。彼は正しい選択をした！ということです。

235点 ⇒ 401点 166点アップ!!

頑張る生徒の紹介【第1弾】です！

実名は伏せますが昨年入会した生徒さんで入会当初は235点でした。定期テストは300点を下回ると基礎力の欠如が広がっている状態だと判断します。そのままでは現学年の勉強をしても上積みされません。とことん今までの知識の上に積み上げるものが勉強だからです。そのため235点の状態からレベルアップするためには今までの復習+現学年の勉強という2重の取り組みが必要となります。テスト前だけの勉強でやり過ごす学生が多い中で2重の勉強をするというのは並大抵ではありません。しかし彼はやってのけました！みるみる実力は伸びていき、遂に今回のテストで400点の大台を超えたのです！400点は上位レベルの入り口となる点数です。まぐれで獲れる点数ではありません。まさに“継続は力なり”を体現しました。そして“塵も積もれば山となる”細かい取り組みをたんたんとなしてきたからこそ上位の壁を突破することができたのです！これこそ成長だと思います。自分の将来と叶えたい望みのためにひたすら実行し続ける。拍手です!!

惜しくも過去最高の結果!! (笑)

頑張った生徒の紹介【第2弾】です！

過去最高得点を達成!! おめでとう! 惜しかったね! (笑) 464点!! 今までの過去最高順位は学年10位でしたが、、今回はなんと5位!! 校内ベスト5です! 学年3位とは僅か2点差です、、ただし、、この素晴らしい結果に私は相当ツッコミを入れました、、なぜならば、、ケアレスミスで25点も失点!! つまりノーミスなら489点です!! ぶっちぎりの学年1位です! 凄すぎ!!! それなのに、、(涙) それでも凄い結果です! 頑張っただね! お疲れ様!!

入塾2ヵ月で過去最高点!!

頑張った生徒の紹介【第3弾】です!

4月に入塾してからたった2ヵ月で過去最高得点を達成!! 434点!!

入塾2ヵ月で過去最高点!! 2人目!!

2人目!! 458点!! 初の450点大台越え!! 大台を超えるということは1つ自分の中の壁を乗り越えることだと思います。壁を越えられる人は強くそして自分への厳しさを持っていると思います。勉強とは頭の良さではなく意思の強さです。誰よりも実行するから誰よりも良い結果がでます。自分より頭が良いから結果が違うなどと思わないでください。結果の差というのはそんな軽いものではありません。時間をかけて積み上げた重たいものなのです。重たい価値を自ら作って背負うからこそ人は強くなります。結果を変えたいなら成長を求めてください。人間は求めるものしか得られません。何となく手に入るものに価値はありません。成長も、求める者しか出来ないのです。これからの彼女の飛躍が楽しみです!!

頑張った生徒の紹介【第4弾】です!

4月に入塾してからたった2ヵ月で過去最高得点を達成!!

頑張った結果は 過去最高点!!

頑張る生徒【第5弾】！

過去最高得点を達成!!おめでとう!415点!!
一時は300点を下回る危機もあった中で本当に頑張りました!入会時からずっと寡黙な生徒さんで私にはいつも固い表情なのですが、、、今回は笑ってくれました!嬉しい!!恐らくですが、、、ランクが2つ上がりますよ、、、凄!!!
もともと必要な量がありそれを直前までため込んで一気にやって消化不良か、それとも毎日無理なくなして精神的にも万全の状態となるか。要は二択なのです。
彼女は正しい選択をした!ということです。

文武両道! 陰の努力

頑張る生徒の紹介【第6弾】です!464点!!
英語99点!国語94点!数学94点!
理科90点!社会87点!
素晴らしい!!
そしてテスト明けのテニスの大会で優勝!!
本当に凄い!!おめでとう!!
彼はいつも頑張っているのでもっていつも高得点です。でもこれは決して当たり前の結果ではありません。高い結果を維持し続けるということは普段から誰より努力している証拠です。それこそが最も評価されるべきことです。
とても誇らしい!
なにより決して満足しないその向上心は凄い!!

あの人は今・・・

十数年塾講師をしていると随分前の生徒たちに思いをはせることがあります。

今頃どうしているかなあ、どんな仕事しているのかなあ・・・など。

大学入試まで在籍してくれた塾生なら講師として働いてくれたり繋がりも持てるのですが、大半は高校入試とともに終わってしまいます。ネット環境の発達が著しいとはいえ、個人を調べるというのは倫理的にも技術的にも難しいことですから、再会の機会があるとたまらなく嬉しくなります。最近、教室に2件の直通電話がありました。それぞれ別の相手2人とも元塾生です。一人は大学生で一人は社会人です。20歳になった(大学生になった)のでご飯に連れてってくださいと・・・(笑)思わず顔がほころんでしまいます。個人的な連絡はとっていないので本当に突然の連絡です。サプライズにも程があります!時間が経っても私と話したいと思ってくれる生徒がいるということは、この仕事をしていて最高の喜びです。卒業していく生徒には、後ろを振り返らず前をみて新しい世界を突き進んでほしいと願っています。それでも声をかけてもらえると本当に嬉しいです。そして再会した(元)生徒が遅しう凍々しく成長している姿を見ると思わず目元が潤んでしまいます。と良い話風に書きましたが琴似教室の先生の内5人は元教え子なんです(笑)

小学生の思い

最近、小学生の塾生(小5・6)と面談しました。

全員に必ず将来なりたい職業ややってみたいことはないかを聞いてみたのですが…予想以上に考えていて驚きました!
〔「特にない」という意見が多いのではと予想していた自分が恥ずかしいです…〕以下、塾生(小学生)がなりたい(やってみたい)こと一覧です!

- ・外科医
- ・開業医(歯科)
- ・獣医
- ・テニスプレーヤー
- ・バレリーナ
- ・バドミントンプレーヤー
- ・登山家(世界の山々に挑戦したい)
- ・カフェ店員
- ・デザイナー
- ・パティシエ
- ・ユーチューバー
- ・画家(日本の各地の風景画を描きたい)
- ・小学校の先生
- ・歴史の先生
- ・一級建築士
- ・保護犬士
- ・通訳ガイド
- ・弁護士
- ・臨床心理士
- ・大工
- ・設計士
- ・生物学者
- ・保育士

小学生がなりたい職業ベスト3なんて記事をよく見かけますが、なんと画一的なのかと思いきや知らされます。たった20数名の小学生に聞いてもこれほど色々でてくるのです。十人十色
一人ひとりの言葉にちゃんと耳を傾けて聞くと、明るい未来が沢山あることに気付きます。いつの間にか失われていくものでもないのでしょうか。私も子供の頃に思い描いたものを実は忘れていません。
大切なことは周囲がポジティブに受け止めることなのだと思います。
どこまでも応援し続ける琴似教室でありたいです。みんな頑張れ!!

定期テスト対策【風景】 効率の良い勉強法…？

定期テスト対策も佳境です。
中3生は修学旅行の直後という生徒も多いですが頑張っています。

琴似教室の対策講座は勉強量にこだわって取り組んでいます。
ですから土日の対策も演習量が中心です。

対策教材は「4色プリント」を配布しています。
※各学校と学年の範囲に合わせて作成しています。

黄【演習】 → 緑【テスト】 → 青【演習】 → 赤【テスト】

の順にすすめていく教材です。
大半の生徒の悩みの根本は勉強不足です。
明らかに不足してる人もいますが、多くの生徒はどのくらいの分量が必要かわかっていないのです。
そして彼らの話を聞いてみると、学校では知識の教授もテストも行ってくれる、しかし最も重要な努力の有り方は教えてくれないようです。
※私が学生の時もそうでした。結果を出す生徒はいつの時代も“塾”に通って情報を得ていました。

話は少し変わりますが、
よく、「効率の良い勉強方法を教えてほしい」という類の質問を受けます。
それに対しては「あるようで無いし、ないようで有る」というのが私の答えです。

前半は、**少ない勉強量で結果を出すという都合のいい方法は無い**、という意味です。
後半は、**多くの勉強量をこなすなら最大限の結果を出す方法は有る**、という意味です。

インプットとアウトプットの話ですね。30のインプットで100のテストを解くことは出来ません。
しかし1000のインプットで100のテストを解くことが出来ないこともあります。

“入れる作業”と“出す作業”は違うのです。それぞれに適した訓練が必要です。勉強に取り組む時は“入れる作業”と“出す作業”を意識して分けることです。赤シートで隠して確認する作業などは具体的で良いですね。自分が今やっていることが覚えることなのか試す作業なのかははっきりと意識できています。そしてその結果も明確です。覚えられていなければもう一度シートで隠して覚えなおす。すべてを赤シートで達成できるわけではないので、詳しくはまた改めて触れたいと思います。しかし土台となるのはやはり量です。**すべての効率もテクニックも知識量が無ければ活かすことはできません**。“アウトプット”もインプットしたものが無ければ不可能です。

それでも自分ひとりではなかなか苦しいと感じている学生は大半を占めるでしょう。だからこそ個別です。我々の存在意義です。ひとりで苦しいなら一緒にやりましょう！みんなでやりましょう！

みんなで会話して取り組むわけではありません。
一人ひとは背中を向けています。しかしそれは頑張る背中です。
頑張る人の背中からは頑張るオーラがでます。それが緊張感を生むのです！
頑張るオーラから発する熱量がやる気を生みます！

ひとりで苦しんでいる君へ、もっと精度をあげたい貴方へ

私たちはいつでも歓迎します。
是非、個別指導の扉をたたいてみてください。



10年間で記述量が約2倍…

ニスコでは社内で毎年公立高校の入試分析を行っています。今回は国語の入試分析で面白いデータが報告されました。国語の記述指定字数が**10年間で約2倍**になっているというものです。詳細は以下の通りです。

H23 まで	55 字程度	H24	70 字程度	H25	75 字程度	H26	85 字程度
H28	70 字程度	H29	85 ~ 90 字程度	H30	80 字程度	R2	80 字程度
R3	105 字程度						

字数最長の年度に入試改訂が行われ、全受験者が105字に挑戦しなくてはならないという点も注目すべき点だと思います。他にも、過去初めて「説明的文章」が削除されたことも驚くべき点です。8年連続で出題されていた「誤字訂正」も削除されました。

ここでは国語の入試から学習の意味と今後の対応を考えていきたいと思えます。

まず国語の学習の意味について。**国語はコミュニケーション能力を養う科目**です。文章も絵も詩も様々な表現には“主張”があります。自分自身も相手にも発する言葉には“主張”があるのです。そしてこの**“主張”は「事実」とそこに込められる「感情」で成り立ちます。**

「事実」 + 「感情」 = 「主張」

この**「事実」を【説明的文章】で、「感情」を【文学的文章】で学んでいます。双方の要素を合わせることで筆者が訴えかけている“主張”を理解することが国語の本質**です。国語は文章を読んでどう感じたか・・・ではなく相手の言いたいことをひたすら理解するということを学ぶ科目です。コミュニケーション能力が高い人物は“聞く力”を持っています。それは“主張する力”ではなく“相手を受け入れる力”だからです。饒舌にしゃべる人物の中には主張するばかりで相手の話を聞いていない場合があります。本人としては「聞いている」と言うのですがそれは“音”として耳に入れているだけで相手の主張を受け入れていない（理解していない）ことがよくあります。自分がしゃべるのを我慢して相手が言い終わるのを待っているのは“対話”とは言い難いでしょう。英語ならば“talk（対話）”ではなく“speak（一方的）”です。

さて、話は戻りますが**国語は“対話”が主軸**となります。今回の分析内容で学習指導要領「生きる力」の国語の節が報告されていました。

第1 目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

“伝え合う力を高める”という部分は“対話力”に相当すると思われます。実際、「祖母と孫の電話での会話」が小問となって出題されました。そして今回の入試の最大の特徴である“説明的文章の削除”です。代わりに実用的文章が出題されました。これは「ある生徒から寄せられた要望と図書委員との話し合いの場面」という設定で問題が作成されています。“対話”そのものが大問となって出題されました。分析担当者も**「話し合いの場面」を舞台とした出題は今後増えていくことを予想**しておりました。ただ、来年度以降も説明的文章が削除され続けるとは予想できないので一方向に傾注して入試問題を見誤る危険は回避すべきという旨の報告もきちんとなされておりました。同意です。国語入試のテーマとして“対話”が強調された年度であったことは理解できるので次年度以降の対策テーマ、ひいては国語という科目を教授していく上で同様の傾向を持つ問題演習を積むことは正しいやり方だと考えます。

次に国語の“解法と考え方”について述べていきたいと思えます。

説明的文章と文学的文章はそれぞれ「事実」と「感情」を学ぶためにあるとお話しました。「事実」を学ぶためには**“抽象”と“具体”という言葉**をまず覚えます。

抽象：まとめの言葉、主張にあたる表現

具体：中身の言葉、主張を理解してもらうために説明する言葉

文章はこの抽象と具体が交互に示されてなりたっています。

①抽象（提起・質問） → ②具体（説明） → ③抽象（主張・まとめ）

言い換えると、

①話題を振って → ②説明し → ③言いたいことを言う

具体例をだしますと、ある生徒 A が先生 B に自分の腕時計を見せて次のように主張します。

生徒 A 「先生、僕のこの腕時計は世界一の腕時計なんです。ちょっとこの腕時計の話をしてもいいですか。」

→ ①抽象：話題を振る

先生 B 「いいよ、聞かせて。」

生徒 A 「実は僕のおじさんが冒険家で世界中を旅しているんです。この腕時計はもともとおじさんのもので、一緒に世界を回った相棒なんだそうです。最近新しい時計を買ったので名残惜しいけど、可愛い甥っ子の僕になら譲りわたそうと言ってくれたんです。ぼくはおじさんを尊敬しているので本当に嬉しかったです。」

→ ②具体：説明

先生 B 「それは凄い話だね。じゃあこの時計は世界を駆け巡ってきたんだね。」

生徒 A 「はい、だから僕にとっては世界一の腕時計なんです。」

→抽象：主張

となります。言いたいことばかりだと相手に自分の主張が伝わらないので、必ず話に段階を作るのです。

①話題を振って【抽象】 → ②説明し【具体】 → ③言いたいことを言う【抽象】

そして①と③がかみ合わないと支離滅裂になるため①は必ず③の伏線及び同じ内容となる必要があります。この考え方をどのように活かすかという、国語の“解法”では、抽象的質問には具体的返答で、具体的質問には抽象的返答で返すのです。最初に申し上げた通り、抽象と具体は交互に表現されます。数学でいう偶数と奇数の関係に近いかもしれません。←これもどちらかをトばすことは出来ませんよね。

よくある例え話を1つ

母親 「今日の遠足どうだった？」（抽象的質問）

子ども 「楽しかった。」（抽象的返答）

会話が成り立っていません（笑） 母親は遠足の詳細が知りたいのです。“抽象を抽象で返す”のはNG、“具体を具体で返す”のもNGです。正しくは、

母親 「今日の遠足で一番楽しかったことはどんなこと？」（抽象的質問）

※「一番」など質問を特定することで相手は答えやすくなります（配慮）。

子ども 「えっとねえ、山に登ってお昼ごはん食べる前にみんなで歌を歌ったの！

思いっきり歌ったらすごく気持ち良くて楽しかった！」（具体的返答）

となります。 それでは今回の入試問題より実践例を1つ、

問 「～どのような決意をもたらしましたか～」※著作権により必要な表現だけを抜粋しております。

→「決意」は抽象的表現です。

→「どのような決意」とは決意の中身を教えてほしいということです。

中身は具体でありそれが答えとなるので今回は抽象的質問となります。

答 「不安から逃げずにお母さんに自分の夢を伝えて、自分の意志で未来を決めていこうという決意をもたらした。」

→具体的解答です。

先に述べた通り、文章でも段落でも

①抽象（提起・質問） → ②具体（説明） → ③抽象（主張・まとめ）

という構成となります。抽象的解答を作りたいなら①（冒頭）か③（末尾）を探せばいいです。具体的解答を作る場合は②（中間部）から探すこととなりますが、ここは文章全体のボリュームゾーンとなり長いので、問いのキーワードを参考に探し当てるのがよいでしょう。上記を踏まえた上で目の前の“問”が抽象的質問なのか具体的質問なのかを判別する訓練をすると良いです。実践力に至るまでは半年くらいかかるので早目に始めることをお勧めします。

引き続き文学的文章についてです。

とにかく“感情（気持ち）”が重要です。1にも2にも3にもこれです。特に“主人公の心情”は最重要です。

理由があります。それは“主人公は物語のフィルター”だからです。物語はその世界観を理解しながら読むべきものです。実は読者が好き勝手に読めるものではなく、主人公が読者と物語の間のフィルターとなって色（イメージ）を決めるのです。どれほど平和な風景であったとしても主人公の心情が暗いものであれば暗いフィルターをして読まなくてはなりません。だからこそ“主人公の心情”を把握することは重要なのです。

次に文章全体をプラスかマイナスのイメージで捉えます。プラス（前向き）かマイナス（悲壮的）か・・・これは上記の主人公の心情把握に等しい内容です。

今回の入試分析で文学的文章で初めて選択肢問題が出題されたことが報告されました。意外や意外、実は過去の入試ではなかったのです。ただ、テキストや学カテスト、大学入試では必ず出題されるので抑えておく必要はあります。文学的文章の選択肢問題は文章のイメージ（プラスかマイナス）と連動しています。つまり内容把握よりもイメージ把握をしておくこととあっさり解けたりするのです。

他にも【情景描写】という手法があります。心情を景色で描写する方法です。

例えば雲一つない晴天の下、3人の男女がいるとします。風もなく降りそそぐ日差しが痛いほどに強く、3人の影を色濃く映し出されている・・・何となく暗い雰囲気を感じ取っていただけでしたか。景色の良さがギャップとなって「～痛いほどに～」「～影を色濃く～」という表現が登場人物たちの心情に影を落とす効果をなしています。

文学的文章は主人公の心情をドストレートに表現してくれません。むしろ遠回しに知らせてきます。だからこそ上記のような細かい表現を見抜いて登場人物の心情を把握してください。※そのための訓練をしましょう！

最後にもう一つお伝えしておきたいことがあります。説明的（実用的）文章と文学的文章の記述方法は異なります！

毎年毎回、道コンの記述採点をしていて同様のことを思います。それは文学的文章の記述内容が「事実だけでまとめられてしまっていること」です。例えば、

問 帰宅した主人公がはりつめた表情だったのはなぜですか。

という問いに対して

答 自分は何もしていないのに、放課後残されて先生に怒られたから。

という解答は正解にはなりません。

なぜか！？ ⇒ 文学的文章で最も重要な“感情”が表現されていないからです！

正しくはこうです

答 自分は何もしていないのに、放課後残されて先生に怒られたことに理不尽さを感じ、怒りを覚えたから（腹がたったから）。

文学的文章では「事実」のあとに必ず「感情」を伴うことです！

これだけ守ってくれるだけで結構点数あがりますよ（笑）